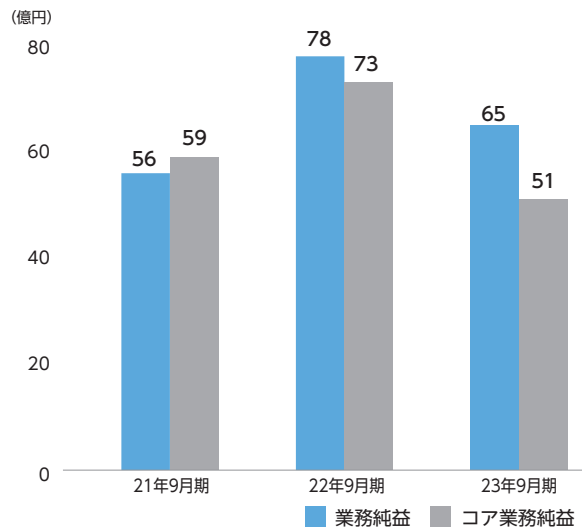


# 平成23年度中間期の営業の概況(単体)

## 業務純益とコア業務純益

業務純益は、資金利益の減少や基幹系システム移行による減価償却費等の増加により前年同期比13億18百万円減少し65億31百万円となりました。なお、債券関係損益と一般貸倒引当金繰入額を除いたコア業務純益は、前年同期比22億35百万円減少し51億24百万円となりました。

### ● 業務純益とコア業務純益

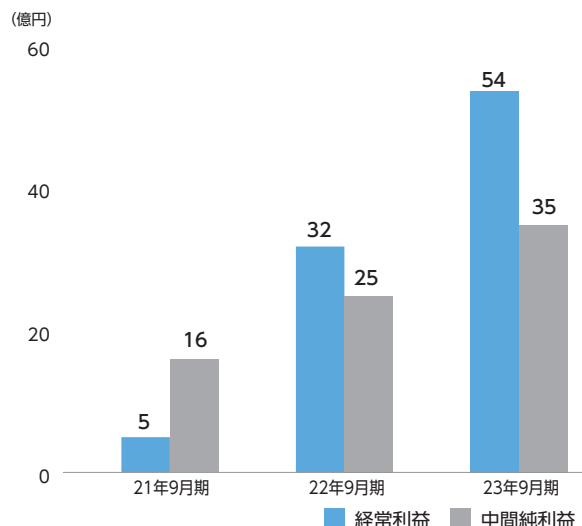


## 経常利益と中間純利益

経常収益は、貸倒引当金戻入益の計上などにより前年同期比3億86百万円増加し260億38百万円となりました。また、経常費用は、貸倒引当金繰入額の減少等により前年同期比17億45百万円減少し206億15百万円となりました。

この結果、経常利益は前年同期比21億32百万円増加し54億23百万円となりました。中間純利益は前年同期比10億51百万円増加し35億75百万円となりました。

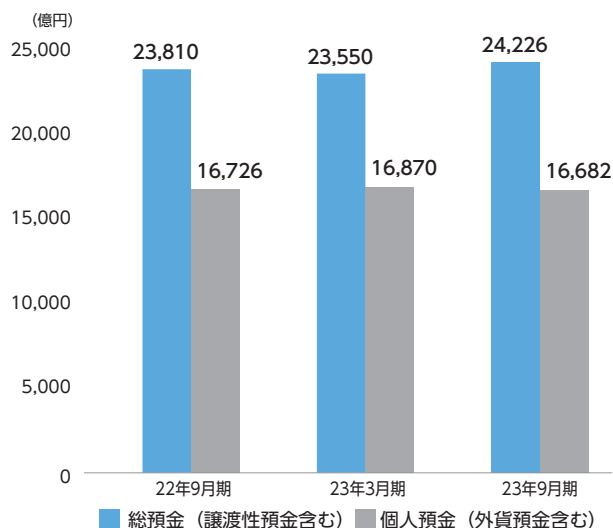
### ● 経常利益と中間純利益



## 総預金と個人預金

安定的な資金確保に努めました結果、総預金（譲渡性預金を含む）は、前年度末比675億円増加し、2兆4,226億円となりました。前年同期末比では415億円増加しました。個人預金（外貨預金を含む）は、前年度末比188億円減少し1兆6,682億円となりました。前年同期末比では44億円減少しました。

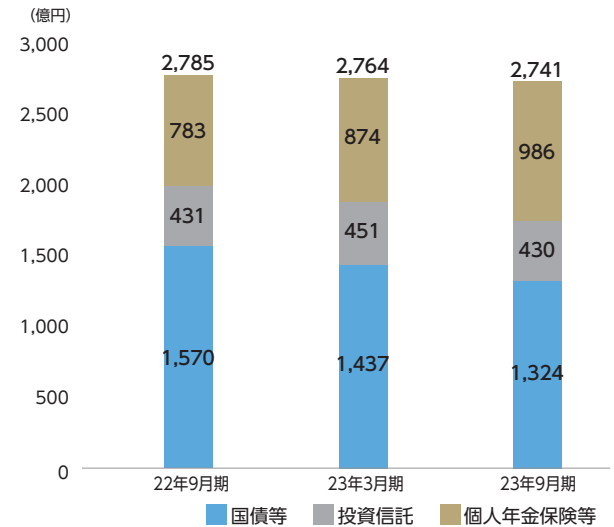
### ● 総預金（譲渡性預金含む）と個人預金（外貨預金含む）



## 個人預り資産

お客様の資金運用ニーズの多様化にお応えするよう努めました結果、個人年金保険は増加しましたが、国債、投資信託は減少しました。個人預り資産（預金を除く）合計では前年度末比23億円減少し、2,741億円となりました。前年同期末比では44億円減少しました。

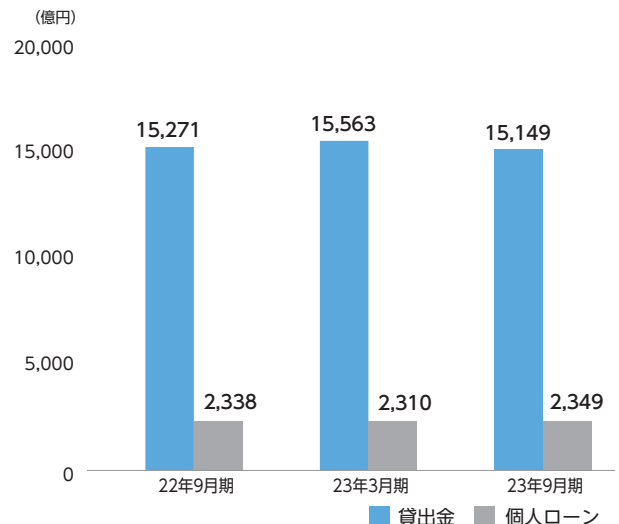
### ● 個人預り資産（国債等、投資信託、個人年金保険等）



## 貸出金と個人ローン

貸出金残高は、景気低迷による資金需要の減少により、前年度末比414億円減少し1兆5,149億円となりました。前年同期末比では122億円減少しました。個人ローンにつきましては、前年度末比38億円増加し、2,349億円となりました。前年同期末比では10億円増加しました。

### ● 貸出金と個人ローン



## 有価証券

有価証券残高は、国債・地方債等の公共債を中心に有価証券運用を強化しました結果、前年度末比446億円増加し、8,216億円となりました。前年同期末比では286億円増加しました。

### ● 有価証券残高

